

保守とお手入れ

常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

■お手入れの際や、蛍光ランプの交換の際は、必ず電源を切る。

■器具のお手入れ



必ず守る

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる。

*石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が“石けん”であることを確認してください。)

■みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり熱湯や殺虫剤をかけない。



禁止

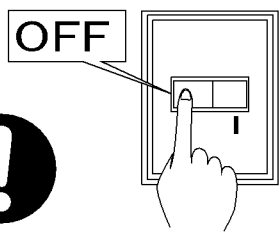


*割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



必ず守る

*電源を切らないと感電の原因となります。

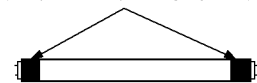


■蛍光ランプの交換時期について

■蛍光ランプ取り扱い上のご注意

●蛍光ランプは口金付近が黒ずみますと寿命です。新しい蛍光ランプとお取り替えください。

黒ずみますと寿命です。



必ず守る

器具に合った蛍光ランプをお求めください。



接触禁止



*やけどの原因となります。

仕様

器具	仕様	定格電圧	周波数	消費電力	適合ランプ	点灯管
10W・1灯	交流100V		50Hz用	10W	ハイホワイト 10W FL10N-B	FG-7E
			60Hz用			

アフターサービス

●もし器具に異常が生じた場合は、直ちに電源を切り、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具銘板に表示してあります。）故障状況を連絡のうえ、修理を依頼してください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときにお役にたちます。

購入店名

電話

ご購入年月日

年

月

日

 日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

取扱説明書

保存用

日立蛍光灯器具

門 灯

FMW1601

HITACHI

Inspire the Next

防雨形

このたびは日立蛍光灯器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

安全上のご注意

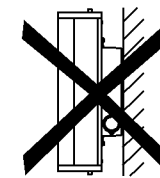


警告

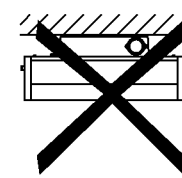
●このような場所には取り付けない。（この器具は上向き取り付け専用型です。）



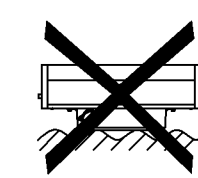
禁止



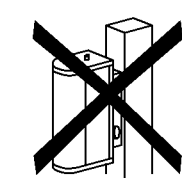
壁面取り付け



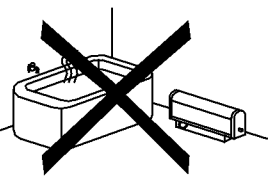
天井取り付け



取り付け面が凸凹



取り付け面がせまい



湿度の高い所

- 器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する。
*しろうと工事は危険です。また、法律で禁じられています。
- 器具の改造、構成部品(ソケットなど)の交換はしない。
*火災・感電・故障の原因となります。
- 器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない。
*感電・故障の原因となります。
- 器具に布や紙・ポリ袋などをかけない。
*過熱し、火災の原因となります。



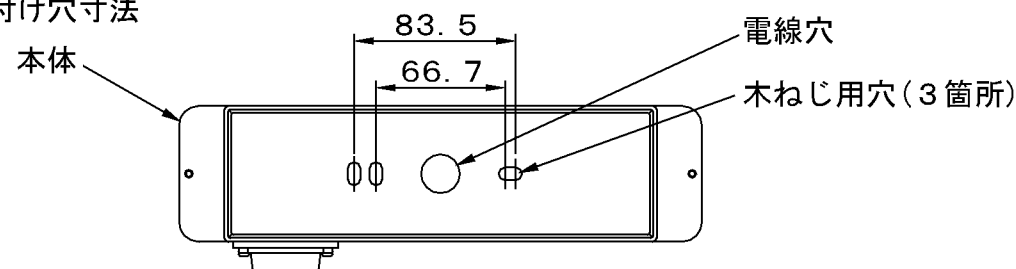
注意

- 定格電圧交流100V以外で使用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 浴室など湿気の多い場所や常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない。
*絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器(当社商品名ライトロール)と併用しない。
*過熱し、火災の原因となります。
- お手入れの際や、蛍光ランプの交換は、必ず電源を切る。
*電源を切らないと感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は蛍光ランプが熱くなっているので触らない。
*やけどの原因となります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない。
*過熱し、火災の原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えない。
*器具の落下によるけがの原因となります。

器具を取り付ける前に

■取り付け工事をされる方へ…取り付け工事が終わりましたら、この説明書はお客様にお渡しください。

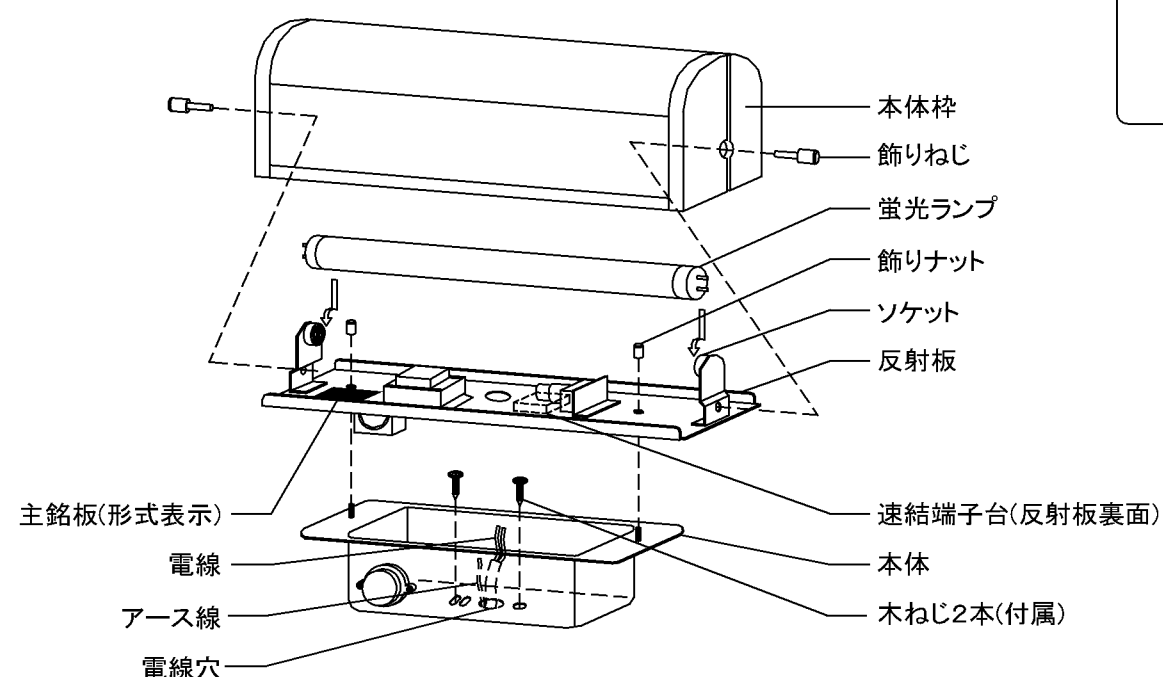
●器具の取り付け穴寸法



各部の名称

図は取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図です。

●下図を参照して各部品をお確かめください。



付属品



器具の取り付けかた

必ず電源を切ってから作業をしてください。

(1)飾りねじをはずし、反射板から本体枠をはずしてください。

ソケットから蛍光ランプを取りはずしてください。(蛍光ランプの取りはずしかた参照)

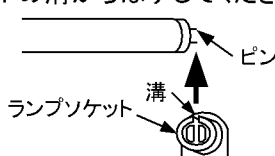
飾りナットをはずし、本体から反射板をはずしてください。

蛍光ランプの取りはずしかた

①蛍光ランプを90度回してください。

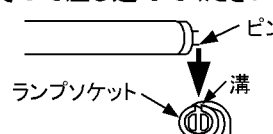


②蛍光ランプの両端のピンを、ランプソケットの溝からはずしてください。

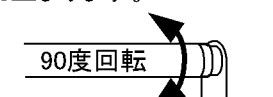


蛍光ランプの取り付けかた

①蛍光ランプの両端のピンをランプソケットの溝にそって差し込んでください。



②蛍光ランプを90度回してください。手ごたえがして止まります。



器具の取り付けかた

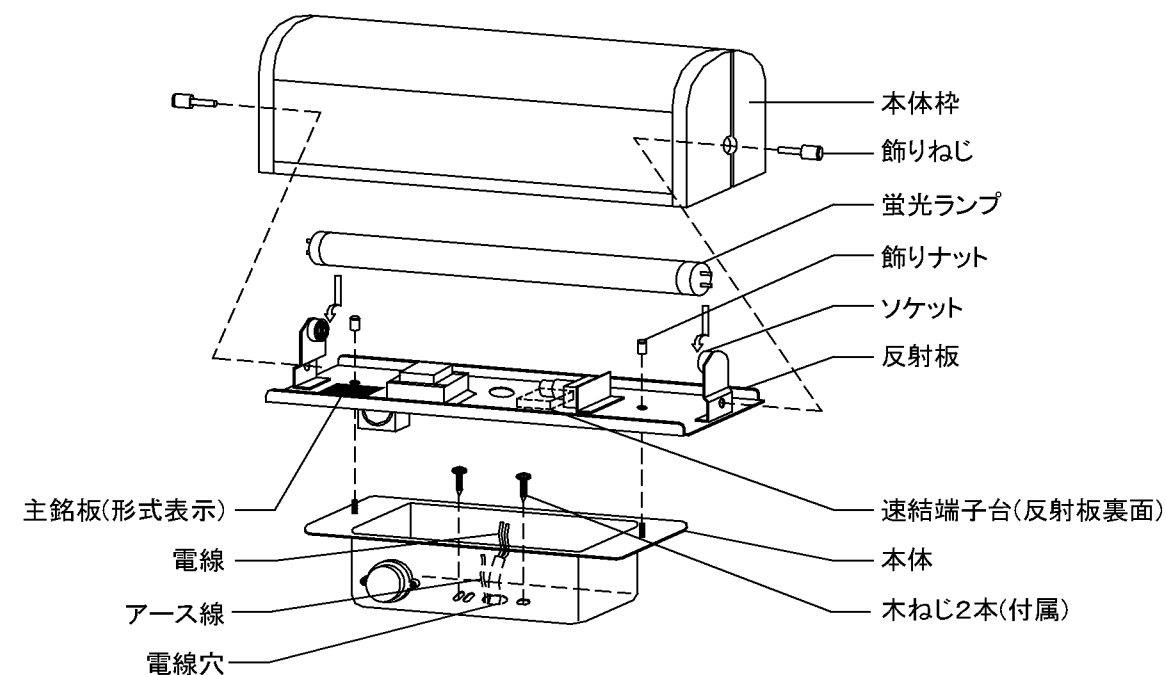
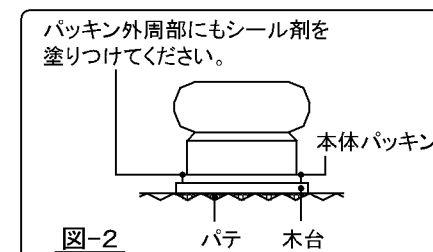
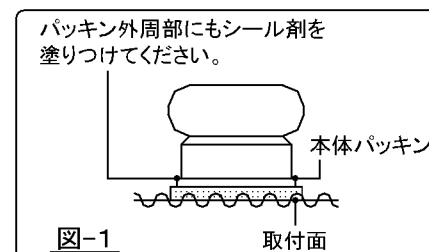
必ず電源を切ってから作業をしてください。

(2)本体を取り付けてください。

本体の中央電線穴に電線とアース線を通してから、付属の木ねじ2本で本体を取付面にしっかりと取り付けてください。

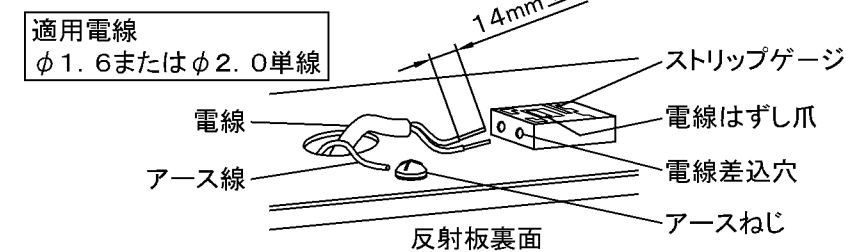
●器具を取り付ける際は、器具取付部の本体パッキンが取付面と器具に必ず密着するようにしてください。

●取付面に凸凹がある場合は、パテ等で凸凹をなくすか。防水用シール剤等で器具(木台)と取付面のスキマを埋めるようにしてください。(図-1、図-2)



(3)電線を結線してください。

速結端子台のストリップゲージにあわせて電線の被覆をむき、電線差込穴に奥まで差し込んでください。



(4)アース線をアースねじに接続してください。

(5)反射板を飾りナットで本体に取り付けてください。

(6)ランプをソケットに取り付けてください。(蛍光ランプの取り付けかた参照)

(7)反射板に本体枠をかぶせ、飾りねじでしっかりと固定してください。

●確実に電線を接続する。
*接続が不完全な場合は、接続不良による発熱・火災・感電の原因となります。



●電線の接続作業時は、必ず電源を切る。
*電源を切らないと感電の原因となります。



●アース線は、本体内部のアースねじに接続する。



●取り付け後、本体を軽くひっぱり確実に付いているか確認する。
*取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。